

平成 20 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	高次 π 空間の創発と機能開発	
領域代表者名	赤坂 健 （筑波大学・大学院数理物質科学研究科・教授）	
研究期間	平成 20 年度～ 24 年度	
<p>【科学研究費補助金審査部会における所見】</p> <p>本研究領域は、分子に多様な構造と機能をもたらす特異なπ電子の特性に着目し、活性化された曲がったπ電子系でできる空間「高次π空間」を切り口とすることで、より高度で複雑な秩序やシステムの発現を目指すという挑戦的かつ独創性の高い課題である。世界をリードしている中核研究者達を中心として実績のある研究者を複数の分野から集めて研究組織を構成し、若手研究者などにも配慮するなど、非常に良く練られた研究組織が提案されており、分子科学の発展にとどまらず、集積化への挑戦、さらには生物化学への貢献が期待できる。我が国が優位性を持つ研究領域であり世界的な競争が激しさを増す中で当該研究領域の格段の研究発展が見込まれると考える。</p>		